

大田市に来て体験してみませんか?!

UIターン者到大田市を知ってもらうきっかけを目的とした

大田市農業体験プログラムを開催します!

開催日

令和8年9月5日(土)~6日(日)

最少催行

1名以上

内容

1日目

14:00~ 生産者ほ場訪問

2日目

9:00~ シャインマスカットの収穫:出荷作業体験
午後 帰宅

支援制度

交通費と宿泊費、保険の助成支援があります!

交通費:上限40,000円/人

宿泊費:上限9,000円/人(素泊まり)

保険:傷害(旅行)保険

※宿泊費と保険は公益財団法人しまね農業振興公社の「しまね農業体験プログラム」を活用した場合

※助成を保証するものではありません。

詳細は、今後大田市ホームページに掲載します。

問 い 合 わ せ 先

大田市農業担い手支援センター (農林水産課内)

TEL:0854-83-8088 MAIL: o-ninaite@city.oda.lg.jp



自然豊かな大田市で

ぶどう農家

始めませんか?

Point1 大田市におけるぶどう栽培の魅力

大田市では昭和34年に鳥井町でぶどう栽培が始まり、昭和39年に大田市ぶどう生産組合を発足し、60年以上の歴史がある産地です。

当産地では、ビニールハウスを活用して、デラウェアを中心に、シャインマスカットや島根県オリジナル品種“神紅”などを栽培しています。

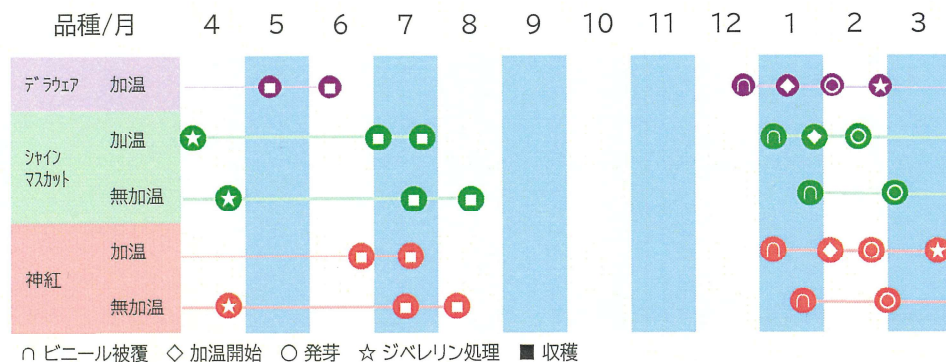
- 1 共同の集荷場があり、栽培に集中できる環境
- 2 ぶどうが成園になるまで機械貸出等の手厚いサポートあり
- 3 人数が必要な作業は組合員同士での助け合い
- 4 栽培技術など先輩農家に相談しやすい
- 5 生産組合は若手を中心(40代が中心)



Point2 年間栽培スケジュール

品種や作型を組み合わせることで、労力分散を図ります。農繁期は3～9月で、ジベレリン処理や収穫などの作業がたくさんあります。

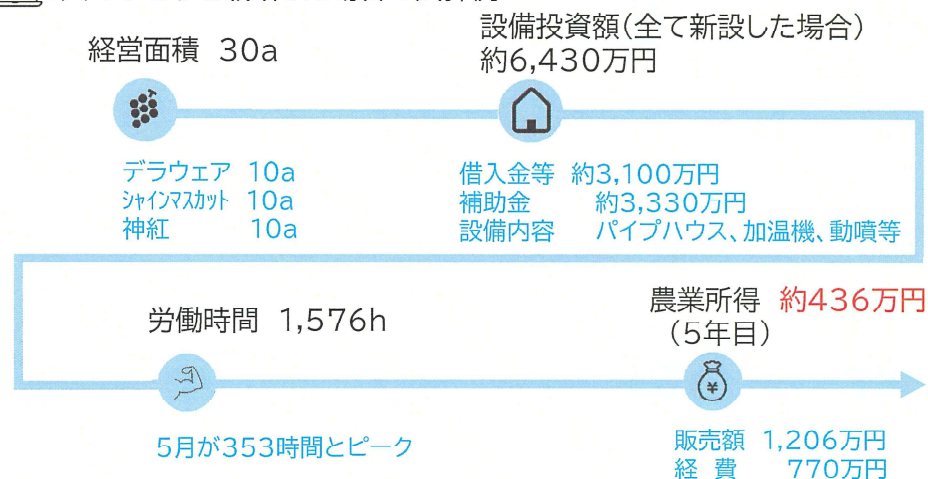
10～12月で、土壌改良やせん定で急ぐ作業がなく、一休みできます。



Point3 ぶどう栽培の就農モデル

- ✓ 就農と同時にぶどう苗木を定植しても成園化に5年はかかり、最初の3年間はほぼ無収入になります。
- ✓ 最低限3年間は無収入にも耐えられる貯蓄等が必要です。人によっては、他農家でアルバイトされる方もいます。
- ✓ 中古ハウスの活用は可能で、初期投資設備額を抑えることができますが、ハウスが老朽化しており修繕が必要になります。

☑ 1人でぶどうを栽培した場合の試算例



※就農5年後のモデルであり、所得を保障するものではありません。
 ※農業経営においては、天候等の気象条件や経営者の技術レベルによりこれらの値は変わります。
 ※補助金は最大限の活用した場合の補助額です。事業の有無等により変動があります。

Point4 大田市や生産組合が求める人物像

- ✓ 大田市に移住し、家族などの周りの方の理解・協力を得られる方
- ✓ 独立自営就農を目指す25～35歳程度までの方
- ✓ 成園化するまでの生活費があり、それとは別に500万円程度の自己資金がある方

Point5 移住・定住・空き家に関する情報

- ✓ 大田市定住PRサイト「どがどが」をご覧ください。

詳しくはこちら

